

日本トリムの 電解水素水を

透析液に使用することとで

透析疲労が減少

現在、透析治療を受けている人は全国で約34万人。1回4〜5時間の治療を週に3回受けなくてはならないのだから、その精神的な負担は大きく、治療に伴う疲労感も半端ではないだろう。先日、そんな透析患者にとって朗報ともいえる注目すべき研究結果が日本トリムから発表された。

同社は創業以来40年にわたり「水には健康に寄与する機能がある」ことを世界に先駆けて着目。水を科学することで幅広いニーズに合った、従来にない新しい機能

透析患者に朗報



左から、日本トリム専務取締役・尾田虎二郎氏、同代表取締役・森澤紳勝氏、聖路加国際病院 部長・腎センター長 中山昌明先生

を持った水を開発している企業だが、今回発表したのは聖路加国際病院を中心とした研究結果。その内容は、同社の電解水素水を透析液として使用することで透析関連疲労の原因である酸化ストレスが治療開始2週間目から低減し、疲労を抑制するメカニズムを解明したということだった。研究に関わった聖路加国際病院・中山昌明腎センター長は、「透析関連疲労が軽減することと語った。」

「透析関連疲労が軽減することと語った。」